

2023年10月18日

これまでに腹腔鏡下肝切除術を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

松山赤十字病院外科では「腹腔鏡下肝切除術における炭酸ガス塞栓の危険因子に関する検討」という臨床研究を行っております。

炭酸ガス塞栓は腹腔鏡手術全体の約0.15%に発症しますが、肝切除術においては0.2-1.5%と他の臓器の手術と比べ発症率が高いとされています。

この研究は、腹腔鏡下肝切除術における炭酸ガス塞栓の危険因子を明らかにすることを主な目的としています。そのため、過去に腹腔鏡下肝切除術を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は松山赤十字病院医療倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間 : 2023年10月1日 ~ 2024年5月30日まで

対象調査期間 : 2020年4月1日 ~ 2023年8月31日まで

- 今回の調査研究の対象はこれまでに腹腔鏡下肝切除術を受けた患者さんのカルテです。
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化（非個人情報化）又は符号や番号を付することをを行い、個人情報に関連する事項全てを保護します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もございますが、データを使用させていただいた患者さんには帰属しません。
- この調査研究は、診療によって得られたデータを使用するため研究費は生じません。特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

松山赤十字病院 外科

研究責任者：皆川亮介

TEL：089-924-1111(代) FAX：089-922-6892(代)